

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月14日
東

上場会社名 株式会社コマースOneホールディングス 上場取引所
 コード番号 4496 URL <https://www.cm-one.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岡本 高彰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部長 (氏名) 清水 究 (TEL) 03(6261)6677
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績 (2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	898	3.8	154	29.3	107	△22.2	40	△50.5
2024年3月期第1四半期	865	13.7	119	△22.5	137	△16.3	81	△21.2

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 35百万円(△59.9%) 2024年3月期第1四半期 88百万円(93.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	5.64	—
2024年3月期第1四半期	11.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	3,743	2,801	74.8
2024年3月期	3,882	2,844	73.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 2,801百万円 2024年3月期 2,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	27.00	—	11.00	38.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2024年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭 記念配当 20円00銭

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,815	7.3	604	△6.1	683	△2.7	454	9.6	63.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	7,193,400株	2024年3月期	7,193,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	49株	2024年3月期	49株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	7,193,351株	2024年3月期1Q	7,264,944株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、EC事業者のビジネス開始・運用に際して必要になる様々なソリューションを提供し、消費者もEC事業者も全ての人々が、より安全で安心な取引ができる健全なEC市場の発展と成長を目指し、EC事業者のためのビジネスインフラとなるECプラットフォームを提供する企業グループとして事業活動を行っております。

当社グループの主要な事業領域となる、国内EC市場は、販売商品の多様化、市場参加者の増加、物流事業者による配達時間の大幅な短縮化、SNSによる情報流通量の増加等を背景に継続的な成長を遂げてまいりました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により急成長した国内EC市場は2022年度以降、経済活動が正常化するにつれて、成長が緩やかになりましたが着実に成長を続けております。消費者においては、新たなライフスタイルやワークスタイルの定着も見られ、時流に沿ったビジネス展開が求められるようになりました。このような変化の激しい市場で課題を抱える事業者を支援するため、当社グループでは、店舗売上の向上につながるオプション・アライアンスサービスの拡充やECコンサルティング事業への参入、Web接客サービス等の顧客体験価値を向上させるソリューション展開により事業領域を拡大しながら「テクノロジーを活用する人の力を最大化させるプラットフォーム」であることを目指しています。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間において当社グループは、市場成長に伴う売上高の確保を指すとともに、今後の市場環境に適応するための成長投資を積極的に行いました。

<株式会社フューチャーショップ>

「futureshop」を提供する株式会社フューチャーショップでは、ECサイト構築支援のソリューションとして提供している「Commerce Creator」において「配送・送料機能 upgrade版」をリリースし機能向上を実施しました。

「futureshop」の利便性向上のため、オプション・アライアンスサービスの拡充を引き続き行っております。

このような成長投資のもと、2024年6月に行った価格改定の影響もあり、売上高は堅調に推移し対前年同期比では増収増益となりました。

<株式会社ソフテル>

「通販する蔵」を提供する株式会社ソフテルでは、大手ECモール倉庫との連携や送り状自動発行機能等、顧客ニーズの高いカスタマイズ案件を重点的に提案しました。EC事業者のバックオフィス業務を効率化する連携機能の強化等を行い売上高は堅調に推移し対前年同期比では増収増益となりました。

<その他>

SAMURAI TECHNOLOGY株式会社や株式会社空色については、確保したエンジニアリソースの更なるスキルアップを目的とした投資を強化し、株式会社空色では新しいWeb接客の形を提案するソリューションの開発を進めております。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績及び主要な連結子会社の業績は、下表の通りとなりました。

(連結業績)

(単位：千円)

	2024年3月期 第1四半期 (累計)	2025年3月期 第1四半期 (累計)	増減額	増減率 (%)
売上高	865,862	898,956	33,093	3.8
EBITDA	158,111	183,642	25,530	16.1
営業利益	119,611	154,688	35,076	29.3
経常利益	137,955	107,367	△30,587	△22.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	81,999	40,599	△41,400	△50.5

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

〈主要な連結子会社の業績〉

(単位：千円)

		2024年3月期 第1四半期 (累計)	2025年3月期 第1四半期 (累計)	増減額	増減率 (%)
(株)フューチャーショップ	売上高	625,571	663,247	37,675	6.0
	営業利益	185,339	201,723	16,383	8.8
(株)ソフテル	売上高	180,343	191,338	10,994	6.1
	営業利益	11,086	20,167	9,080	81.9

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

総資産につきましては、3,743,415千円となり、前連結会計年度末に比べ139,272千円減少いたしました。流動資産は2,242,290千円となり、前連結会計年度末に比べ63,594千円減少いたしました。これは、主に業容拡大により現金及び預金が36,808千円増加する一方で、売掛金及び契約資産が22,945千円減少、また、主に前渡金の充当によりその他の流動資産が80,234千円減少したことによるものであります。

固定資産は1,501,124千円となり、前連結会計年度末に比べ75,677千円減少いたしました。これは、主に持分法による投資損失の計上により投資有価証券が70,145千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、941,885千円となり、前連結会計年度末に比べ95,827千円減少いたしました。これは、主に未払法人税等が122,523千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、2,801,530千円となり、前連結会計年度末に比べ43,444千円減少いたしました。これは主に配当金の支払いによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の73.3%から74.8%となりました。

なお、当社は、ECプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けた記載を行っておりません。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて36,808千円増加し、1,770,688千円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は128,556千円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益107,367千円、減価償却費28,954千円、持分法による投資損失63,149千円、売上債権の減少22,964千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は27,169千円となりました。

これは主に株式会社フューチャーショップにおける新機能等のソフトウェア開発に係る無形固定資産取得による支出26,982千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は78,547千円となりました。

これは主に配当金の支払額77,644千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期業績予想につきましては、前期決算短信発表時(2024年5月15日)に公表しました通期業績予想数値より変更ありません。

通期における売上高は3,815百万円、営業利益は604百万円、経常利益は683百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は454百万円を予想しております。

当第1四半期累計期間における業績は、予想に比して順調に推移しております。

なお、当該業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,733,879	1,770,688
売掛金及び契約資産	293,050	270,104
仕掛品	7,562	6,333
前払費用	88,808	85,569
未収還付法人税等	55,929	62,375
その他	129,890	49,655
貸倒引当金	△3,234	△2,435
流動資産合計	2,305,885	2,242,290
固定資産		
有形固定資産	78,489	74,340
無形固定資産	328,514	331,717
投資その他の資産		
投資有価証券	1,002,854	932,709
その他	169,491	164,884
貸倒引当金	△2,546	△2,527
投資その他の資産合計	1,169,798	1,095,066
固定資産合計	1,576,802	1,501,124
資産合計	3,882,688	3,743,415

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,676	33,856
短期借入金	47,000	47,000
前受金	422,847	430,828
未払法人税等	175,881	53,357
賞与引当金	5,107	226
資産除去債務	-	4,798
その他	231,062	247,688
流動負債合計	915,574	817,755
固定負債		
繰延税金負債	65,428	73,075
資産除去債務	47,629	42,876
その他	9,081	8,177
固定負債合計	122,138	124,129
負債合計	1,037,713	941,885
純資産の部		
株主資本		
資本金	210,400	210,400
資本剰余金	160,400	160,400
利益剰余金	2,095,031	2,056,504
自己株式	△36	△36
株主資本合計	2,465,794	2,427,267
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	379,180	374,263
その他の包括利益累計額合計	379,180	374,263
純資産合計	2,844,974	2,801,530
負債純資産合計	3,882,688	3,743,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	865,862	898,956
売上原価	392,173	398,023
売上総利益	473,688	500,933
販売費及び一般管理費	354,076	346,244
営業利益	119,611	154,688
営業外収益		
受取利息	5	8
為替差益	16,466	13,856
その他	1,922	2,433
営業外収益合計	18,394	16,298
営業外費用		
支払利息	47	47
持分法による投資損失	-	63,149
その他	4	423
営業外費用合計	51	63,619
経常利益	137,955	107,367
税金等調整前四半期純利益	137,955	107,367
法人税、住民税及び事業税	44,815	52,369
法人税等調整額	11,139	14,398
法人税等合計	55,955	66,768
四半期純利益	81,999	40,599
親会社株主に帰属する四半期純利益	81,999	40,599

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	81,999	40,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,896	△4,916
その他の包括利益合計	6,896	△4,916
四半期包括利益	88,896	35,682
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,896	35,682

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	137,955	107,367
減価償却費	30,871	28,954
のれん償却額	7,628	-
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	528	△817
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△439	△4,881
受取利息及び受取配当金	△6	△9
支払利息	47	47
持分法による投資損益 (△は益)	-	63,149
為替差損益 (△は益)	△16,466	△13,969
売上債権の増減額 (△は増加)	△16,061	22,964
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,337	1,228
前払費用の増減額 (△は増加)	15,863	3,238
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,529	180
前受金の増減額 (△は減少)	10,044	7,981
預け金の増減額 (△は増加)	109,883	230
その他	121,691	88,195
小計	396,671	303,859
利息及び配当金の受取額	6	9
利息の支払額	△47	△47
法人税等の支払額	△154,653	△175,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	241,977	128,556
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△618	△193
無形固定資産の取得による支出	△19,642	△26,982
その他	△3,858	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,118	△27,169
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△903	△903
自己株式の取得による支出	△109,797	-
配当金の支払額	-	△77,644
財務活動によるキャッシュ・フロー	△110,700	△78,547
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,596	13,969
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	123,753	36,808
現金及び現金同等物の期首残高	1,608,724	1,733,879
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,732,478	1,770,688

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループの事業セグメントは、ECプラットフォーム事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2024年8月14日の取締役会において、以下のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

中期経営計画(2025年3月期~2027年3月期)において掲げる財務戦略に基づき、当社における戦略的な投資機会、財務状況や株価水準等を総合的に勘案して、機動的な自己株式取得を行います。

(2) 自己株式の取得に係る事項の内容

①取得する株式の種類	普通株式
②取得する株式の総数	100,000株(上限)
③株式の取得価額の総額	75,000千円(上限)
④取得期間	2024年8月15日~2024年11月8日
⑤取得方法	取引一任契約に基づく市場買付